

東京 2020 パラリンピック 報告

パラリンピックが 9/5（日）に閉幕しました。今回は視覚障害者柔道のチームドクターとして、8/22 から 8/30 まで、選手村内で帯同しました。

選手やスタッフの体調管理をトレーナーとともに担当しました。

コロナ対策:今回はコロナ対策責任者に任命され、毎日新型コロナウイルス抗原検査を行いました。OCHA という体調管理アプリ、COCOA という接触確認アプリをインストールして、体調のチェック、陽性者が出た場合の対応に備えました。幸い陽性者は出ませんでした。

バブル対応:選手・スタッフは選手村・練習会場（ナショナルトレーニングセンター）、試合会場（武道館）をバスで移動するのみで、外に出ることはできません。



食堂:2カ所あり。メインダイニングは 24 時間。各国料理がbuffスタイルで食べ放題です。飲物も充実しており、飲み放題です。ケーキやアイスクリームなども充実していました。

ポリクリニック:選手村内には病院があり、内科・整形外科・眼科・歯科などが完備され、検査機器はレントゲン、MRI、エコーがあります。ER は 24 時間対応です。リハビリ室もあり、マッサージ、鍼灸も受けられます。2名の選手が怪我をして、ER や MRI の撮影でお世話になりました。



柔道成績:銅メダル 2 個

開会式:入場行進

男子 66kg 級：瀬戸勇次郎選手、女子 70kg 級の小川和紗選手が銅メダルを獲得しました！
銅メダル決定戦のハイライトは下記 QR コードからご覧下さい。応援ありがとうございました！



Yujirou Seto HighLight



Kazusa Ogawa HighLight

